

# #16

## 幼いころから負けず嫌い 小学生で始めた野球に夢中

2021年10月11日、2021年度新人選手選抜会議（ドラフト会議）の指名2巡目で、「森翔平」と名前が響いた。指名した球団は、広島東洋カープ。地元出身の新たなプロ野球選手の誕生に、鳥取市民は大きく沸いた。森投手は「ほっとしましたうれしかったですね」と、そのときの心境を語る。

鳥取市青谷町の出身。大好きな海に、しょっちゅう遊びに行った。3人兄弟の次男で、幼いころから負けず嫌い。2つ年上の兄にライバル心を燃やし、「ゲームで勝てないのも悔しかった」と話す。

その兄の影響で、小学1年生から青谷小学校スポーツ少年団で軟式野球を始めた。それからは毎日のように、小学校のグラウンドで練習に励

む日々。投げて、打って、守ってと、ボールを追いかける日々が楽しかった。当初は投げるよりも打つ方が好きで、素振りの個人練習を欠かさなかった。チームの監督でもあった父にも、しばしば指導を受けた。

小学校6年生から硬式野球のクラブチームである鳥取クラウンボーイズに入団し、小学校時代は投手と内野手、中学では投手と外野手を務めた。練習場所や試合会場まで車で送迎するなど、家族も野球生活を支えた。「好きなことをやらせてもらって、練習の送迎や経済面などさまざまなサポートをしてもらいました」と、森投手は感謝する。

### 悔しさをバネに努力 地道な練習の継続で開花

鳥取商業高校では、1年生から内野手としてベンチ入りし、2年生でピッチャーに抜擢された。

2年の夏は、忘れられない夏となった。準決勝まで駒を進めた県大会の対八頭高校戦、シーソーゲームの末に自身の登板時に逆転され、敗北を喫した。「自分が投げて負け、3年生の夏を終わらせてしまった。それまでで一番悔しかった。苦い思いを糧にして、一層練習に励んだ。その甲斐あって3年の春季中国地区高等学校野球大会鳥取県予選では、エースとして登

板した決勝で完封勝利。鳥取商業高校を7年ぶりの優勝に導いた。

進学した関西大学では、4年生秋、明治神宮野球大会の準々決勝で2死満塁のピンチをしのいで、47年ぶりの決勝進出に貢献。翌年入社した三菱重工神戸・高砂（現・三菱重工West）でも主力選手として活躍した。ドラフト指名対象となった2年目からプロ球団の評価を集め、昨秋、広島東洋カープから2位指名を受けた。

順風満帆なようだが、その裏にはたゆまぬ努力がある。関西大学野球部は部員100人を超える名門。森投手も最初の3年間はなかなか芽が出なかった。「4年生になるまで、全く結果を出せなかった。ずっと悔しい気持ちを抱えていましたね」。そんななか支えとなったのが、「元プロ野球選手のアドバイザリストスタッフ・山口高志さんの「継続は力なり」という言葉だ。「地道にトレーニングを続け、それが今につながっていると感じ

### グローブに鳥取県の形 心を支える地元愛

入団発表から数日後、背番号は16に決まった。「偉大な方たちが付けてきた番号なので、その方々に追いつけるようにやってみよう。カープは若い選手が多く活躍している印象があります。広島のみならず、全体で応援いただいているチームなので、精一杯応えたい」と、意気込む。

武器は、左腕から繰り出す最速150km/hのストレート。それを軸に、カープやカットボール、チェンジアップなどの変化球を揮る。今後は空振り誘いを細かなコントロールに磨きをかけるのが課題だ。ルーキーとはいえ、社会人チーム経由入団の24歳。猶予はないと考えている。「先発と救

チームが求める役割に、全力で応えたい



2021年11月下旬、都市対抗野球に向けて練習する三菱重工West時代の森投手。元巨人・中日の小田幸平ヘッドコーチ（2022年から中日ドラゴンズの二軍バッテリーコーチ）から「右打者のインコースを追い求めていけ」と指導を受けたのが効果的だったと感じている



練習用のグローブには、鳥取県の形がデザインされている。「鳥取にはのびのびと練習できる環境がある」と、地元の魅力を語る森投手。鳥取商業高校野球部OBとしては初のプロ野球選手となる



カープは以前から投げていたが、昨年ごろからますます精度が上がり、多投するようになったという

【巻頭特集】  
広島東洋カープ

Shohei Mori

# 森 翔平 投手

## 鳥取市出身のプロ野球選手が新たに誕生!

最速150km/hの直球に、打者を翻弄する多彩な変化球。日々精度を上げるコントロールに加え、投手向きの強心臓。さまざまな評価のうえで今年からプロ野球選手となった森投手だが、そこに至るまでの道のりは、決して平坦ではなかった。



Profile  
**森 翔平**（もり・しょうへい）  
1998年生まれ、鳥取市青谷町出身。小学校1年生から青谷小学校スポーツ少年団、6年生から鳥取クラウンボーイズ。鳥取商業高校から関西大学、三菱重工神戸・高砂（現・三菱重工West）へ。2021年ドラフト2位指名で広島東洋カープに入団。177cm、80kg。左投げ・左打ち。手本にしているのは横浜DeNAベイスターズの今永昇太投手。好きな食べ物は母がつくるナスの揚げぶり。

昨秋にドラフト2位指名という高評価を受けた森投手だが、高校3年、大学4年時にはプロ志望届を提出しなかった。理由は単純に「まだ実力不足だと感じていたから」。大学4年時の神宮大会出場あたりから、将来的なプロ入りを本格的に意識し始めたという

